

今年も趣向を凝らした雪像が勢揃い！

まちなか雪像コンテスト

1月22日、まちなか活性化協議会（吉澤信光会長）主催の「第6回まちなか雪像コンテスト」の審査が行われました。エントリーされた雪像83点の審査の結果、個人の部では森武右衛門さん（田の沢）、団体の部では盛岡中央消防署葛巻分署が町長賞を受賞しました。

茶屋場から下町までの自治会や商店、町民など多くの個人や団体が参加し、海女さんやゆるキャラ、人気キャラクターなどの雪像が数多く登場。「おもてなし」や「交通安全」などのメッセージが添えられたものもあり、登下校の子どもたちや道行く人たちが足を止め、その表情などを楽しみました。

町長賞を受賞した森さんは「子どもたちがかわいいと言って見てくれるのが楽しくて作っています。来年も町の活性化のために頑張って作ります」と笑顔を見せました。

表彰区分	入賞者（敬称略）	
町長賞	【個人】 森武右衛門	1
	【団体】 盛岡中央消防署葛巻分署	2
町議会議長賞	【個人】 遠藤幸吉	3
	【団体】 (有)葛巻自動車整備工場	4
まちなか活性化協議会長賞	【個人】 金子拓未、山口創進	5
	【団体】 寺田自治会青年部	6
アイデア賞	【個人】 ビューティミカ	7
	【団体】 鈴木農機(株)葛巻営業所	8
大物賞	【個人】 コアラ歯科医院	9
	【団体】 第3セクター	10
優秀賞	近藤大介、まりも、吉澤菓子店	
特別賞	【個人】 高家酒店、帷子京子、本宮めい、橋本正悦、楯山節子	
	【団体】 新町小路通り、葛巻保育園	



1子どもたちに大人気の滑り台 2雪中宝探しで宝を見つけて喜ぶ子どもたち 3雪像コンテストの表彰式で賞状や副賞を受け取る入賞者 4甘酒やおでんが振る舞われた屋台 5雪像コンテストの表彰式で賞状や副賞を受け取る入賞者 6商工会女性部が設置した雪明かりと夢明かり 7チェーンソーを使い雪像制作に励む各自治会の青年部ら（まつり1週間前）

自治会などが制作した7体の巨大雪像がお出迎え

まちなか雪まつり



まちなか活性化協議会（吉澤信光会長）主催のまちなか雪まつりは1月25日、中央公園広場で開かれ、多くの家族連れなどで賑わいました。

オープニングセレモニーで吉澤会長は「自治会や第3セクター、役員など、多くの関係者の協力により実施できました。これからも町民一体となって、まちなかを盛り上げていきたい」とあいさつ。觸澤義美副町長が「関係者一体となって制作した雪像や夢明かりが町民の心を和ませている。町の活性化のため、今後も継続開催していただきたい」と祝辞を述べました。

会場には、町中心部の5自治会、第3セクター、役場が制作したバイキンマンやくまのプーさんなど、高さ4〜5メートルの雪像が並び、夜にはライトアップされ来場者の目を惹きました。

このほか、雪中宝探しなどのイベントや滑り台が設置され、子どもたちの元気な歓声が響き渡りました。屋台では、甘酒やホットワイン、おでんなどが振る舞われ来場者の体を温めました。

1月22日に審査した「まちなか雪像コンテスト」の表彰式も行われ、賞状や副賞を贈り入賞者の努力をたたえました。※雪像コンテスト入賞者は次ページのとおり。



夜の会場を彩った雪像ライトアップ